

令和7年度 第1回 石巻市病院運営審議会会議要旨

1. 開催概要

- ・ **日時**： 令和7年8月18日（月）午後6時30分～午後7時29分
- ・ **場所**： 石巻市立病院 講堂
- ・ **議事録署名委員**： 矢川 昌宏 委員、工藤 周平 委員

2. 出席者・欠席者一覧

・ 出席委員（14名）

会長：千葉 淑朗

副会長：石垣 英彦

委員：鈴木 徹、瀧谷 和彦、矢川 昌宏、工藤 周平、工藤 雅弘、伏見 不二雄、
櫻井 美子、原 律子、大槻 ひろみ、笹舘 千恵、山内 美子、鈴木 静江

・ 欠席委員（1名）

委員：上野 達之

・ 事務局・説明者（11名）

齋藤市長、椎葉病院局長、阿部牡鹿病院長、鈴木事務部長、館山事務部次長、
尾形病院管理課長、松本医事事務専門官、大場事務長、梶原病院管理課長補佐、
大山施設用度係長、小野寺総務係長

3. 開会

4. 市長あいさつ

5. 報告事項

（1） 令和6年度 石巻市病院事業会計決算の概要について

事務局より概要を説明（質疑なし）

（2） 牡鹿病院の医療機能見直しについて

事務局より現状と今後の方向性を説明（質疑なし）

6. 審議事項

（1） 石巻市公立病院経営強化プランの点検・評価

「石巻市公立病院経営強化プラン（R6～R9）」に基づき、令和6年度の取組について、
自己評価と審議が行われた。

評価方法：総務省のガイドラインに沿った項目・目標値を用い、市独自の評価手法（S
～Eの6段階）で実施。

評価結果：石巻市立病院 自己評価「B」

牡鹿病院 自己評価「B」

審議結果：委員による採決の結果、全会一致で審議会としての評価も「B」とすること
で承認された。

質疑応答

矢川委員

評価項目や目標値及び「S～E（5点～0点）」の評価区分は、厚労省から与えられたものかを質問。

事務部長

項目と目標値は、市が総務省ガイドラインに準拠して策定した「経営強化プラン」に基づくものであり、評価手法については、市が過去の事例を準用して設定したものであると回答。

7. その他

意見交換（自由討議）

千葉会長

診療報酬が上がらない中で病院経営は極めて困難であるが、最終的には公立病院が医療機能維持の砦となる。市は厳しい財政状況の中で、一般財源からの支援を今後どのように考えているかと質問。

市長

病院経営の健全化と市側の財政負担のバランスは非常に厳しいが、単独の病院経営だけでなく、石巻赤十字病院を中心とした「ヘルスケアネット（地域医療連携）」を構築し、機能分散を図ることが不可欠である。

また、医師確保のために大学病院等への働きかけを継続し、市民の安心安全を守る使命を果たしたいと回答。

伏見委員

日本病院協会の会長が「病院破綻」の危機を訴えていたが、実際の現場の危機感はどうかと質問。

千葉会長

材料費・人件費・光熱費などの固定資産が嵩む一方で収益が伴わず、実際に閉院するケースもあり、非常に厳しい状態であると回答。

千葉会長

救急や時間外の「ウォークイン患者」の受け入れについて、開業医の立場からハードルをもう少し下げてほしいと要望。

病院局長

救急・紹介の受け入れ率は年々向上しており、改善は進んでいる。総合診療的なあらゆる疾患を診られる医師を育成し、体制を整えている。今後さらに医師会等と協力し、改善に努めたいと回答。

8. 閉会

石垣副会長

病院経営の厳しさと人口減少問題に触れつつ、「市民の医療ニーズをどう捉え、市立病院に結びつけるか」という具体的な検討をさらに深めるべきだと提言。